

解説

榎原・天神遺跡で注目されるのは南北に走る17号溝です。17号溝からは薄い板状の不整形鉄製品が2点、左右対称の位置で発見されました。縁には折り返しがつけられ、先端は突出しています。少なくとも東日本では他に出土例がないことから用途不明とせざるを得ませんが、境界としての溝の性格と遺物の特殊性、出土状況から、境界での祭祀的な遺物である可能性もあります。

調査区北端で発見された16号土坑は土坑墓で、被葬者は北頭で西を向きかがんだ姿勢で埋葬されており、顔の部分からは小皿が顔に伏せられた状態で出土しています。